

松禪寺報

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

<http://syozen.com>

<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 平成26年2月25日

第57号

涅槃

生あるものは必ず滅びる

2月15日は究極の悟りを得られたお釈迦さま入滅の日

お釈迦さまは、紀元前五百年ほど前に実在された人です。お悟りを開かれてからは、45年間にわたり説法の旅を続けられました。80歳になられたころ、弟子のアーナンダを伴って最後の旅に出られます。途中、チュンダという信者から食事の供養を受け、その直後に体調を崩されました。お釈迦様は嘆き悲しむアーナンダに、最後の教えを説きます。



「一切の世間において、生まれた者はみな必ず死ぬのだ。この世のさまざまな命は無限にひろがっているが、一個の命は必ず尽きる時が来る。盛んなる者も必ず衰え、会う者は別れが来る。壮年はいつまでも



▲インド・クシナガラ涅槃像

のだ。わたしはこれまで、おまえたちのために教えを説いてきたではないか。私が亡くなった後は、これら教えを拠り所として、さらに励むが良い。」

これが我が最後の教えであると言われ、2月15日にクシナガラ沙羅の木の下で息を引き取られました。

生まれてきた以上は何かを縁として必ず死ぬという事実は、多くの人が体験しています。逃げられない、避けられないことですが、そのことを悲観するのではなく、いただいた命を大切に最後まで使い切るための精進を、お釈迦様は示されています。

新役員のもと決算や予算などを協議して承認される

平成26年度総代会、評議員総会を経て新年度の活動が始まりました

新年度の予算などを協議する松禪寺総代会を2月1日(土)午後1時半から、松禪寺で開催しました。総代(責任役員)の任期5年

評議員12人(内総代兼務2人/欠席2人)が出席しました。

評議員会の冒

頭、大きな涅槃図を掲げる本堂の一室で涅槃会のお勤めを行いました。本来は2月15日に行うべき涅槃会ですが、総代・評議員の皆さんが集まるせつかくの機会でもあり、法要を執り行いました。

総会では、花園会の会計を総代が兼務することもできるように、規約の一部改正を提案し承認されました。続いて、平成25年度の事業と通常会計決算報告をはじめ、特別会計決算報告、祠堂金積立金の報告、霊園会計決算報告のほか、



▲評議員総会＝2月11日

平成26年度の事業計画や会計予算を提案、すべて原案通り承認可決されました。また、平成14年に総代会で制定された「松禪寺護持目安」の一部改正を上程しました。平成19年に一部改正されて以降、

7年ぶりの改正となり、葬儀布施と施餓鬼布施の目安について改正を提案、原案どおり承認されました。

年々行事への参加者が減少しつつあり、評議員会では3月15日開催の妙心寺派布教師さんによる法話会のほか、春秋の彼岸会、施餓鬼会などへの参加と協力を評議員さんをお願いしました。

なお、この評議員総会に提出しました資料等につきましては、別途配布いたします「松禪寺花園会資料」をご覧ください。

平成26年度

松禪寺花園会役員(敬称略)

参 与	住職 高橋 乾峰
会 長	平石 義信(栗尾)
副会長	浅田 鑑三(久畑)
総 代	柴田 巧(栗尾)
〃	横谷 憲治(佐田)
〃	福田 春彦(平田)
〃	榎本 新二(佐々木)
会計(兼務)	柴田 巧
評議員	藤田 優(清滝)
〃	酒井 敏則(本城)
〃	森下 秀夫(柴地)
〃	西垣 一博(上山根)
〃	武田 重教(下山根)
〃	松本 文夫(貝田)
〃	横谷 憲治(大貝/兼務)
〃	中島 大介(佐田)
〃	平石 貞雄(石原)
〃	藤田 和久(久畑)
〃	栗田 政昭(平田)
〃	久世 善樹(中路)
〃	榎本 好道(宮本)
〃	榎本 新二(榎合/兼務)
〃	以上

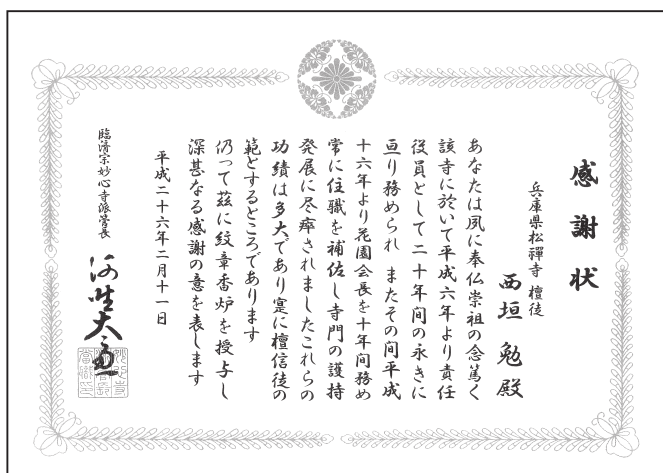
永らくのお勤めに感謝の意を込めて

退任された総代お二人へ感謝状と記念品を贈呈



▲新しい総代と評議員さんの前で西垣勉さんへ感謝状と記念品を贈りました＝2月11日

松禪寺の筆頭総代として永らく務めていただきました栗尾の西垣勉さん（81）が、12月末日をもって勇退されました。西垣さんは平成6年から4期の20年間にわたり、当山護持のために尽力していただきました。平成16年から花園会長として活躍され、常に住職を補佐して寺門の護持発展に努めていただきました。これらの功績は多大であり、大本山妙心寺派管長・河野太通老大師より感謝状と紋章



香炉が授与され、評議員総会の場合において住職より伝達いたしました。松禪寺からも西垣勉さんと共に佐々木の榎本好道さんにも感謝状と記念品を贈りましたが、出席していた皆さんからも慰労の拍手が惜しみなく送られました。永らくのお勤め、ありがとうございます。

四国別格二十霊場 百八煩惱消滅の旅のご案内

第二回目四国別格二十霊場巡拝

「百八煩惱生滅の旅」を実施します。過去に四国八十八ヶ所霊場を巡拝された方々、八十八ヶ所も巡拝したことが無いという方々も大歓迎です。ぜひ、住職と一緒に参加いたしましょう。

今回は阿波の国6ヶ寺、讃岐の国3ヶ寺の9ヶ寺を参拝します。お泊まりは、1日目は「昴宿よしの」（徳島市）、2日目が「花樹海」（高松市）です。また、最終日の参拝を終えた後、塩江温泉郷「魚」

席」にて少し遅い昼食になります。が、巡拝の慰労を行います。

【ご案内】

期日：3月10日（月）～12日（水）

2泊3日

旅費：6万5千円（納経物、納経料別）

申込：2月末日までに旅費を添えて松禪寺まで。

※詳細は松禪寺までお尋ねください。



花園会

26年度会費（前期分）納入にご協力願います

既報の通り、平成26年度の松禪寺花園会の予算が評議員会で承認可決されましたので、松禪寺護持会の通常会費（前期分）の納入をお願いいたします。各評議員さんより納入依頼がありますので、何卒よろしくご協力ください。遠方の会員さんには、郵送によってご依頼いたします。

松禪寺の護持は、護持と発展を願う檀信徒皆様方の護持会費で運営されております。これは、今は亡き皆様方のご先祖と共にひたすら仏道に精進する当寺院には欠かすことのできない血脈であることは言うまでもありません。何卒よろしくお願いいたします。

松禪寺で過ごす 春彼岸

世にたぐいなき深きみ法は よろず代にもあいあうこと難し
わ 吾れ今さいわいに 聴聞し得たり 願わくば長く身に持たんことを

定期巡教

日時 **3月15日(土)** 午後2時開教
場所 松禪寺
テーマ 「おかげさま」
一父母の恩 今 ここ 私のいのち



布教師 服部雅昭 師(愛知県一宮市 耕雲院ご住職)

※檀信徒問わず、どなた様でもお聞きになれます。どうぞお越し下さい。

今日彼岸 菩提の種を蒔く日かな

彼岸法要

日時 **3月21日(金)** 午前11時より
場所 松禪寺
日程 8:30 調理開始(当番さん よろしくお願ひします)
11:00 彼岸会法要
12:00 お斎

心に栄養を
法話会のご案内
人に生まるるは難く、いま生命あるは有難く、世に仏あるは難く、仏の教えを聞くは有難し。
これは、法句經にあるお釈迦様のお言葉です。日々仕事に追われ、あるいは目標を失い、今の暮らしがあることへの大切な何かを忘れてはいないでしょうか。

今年も妙心寺派布教師さんによる定期巡教を次のとおり開教いたしますので、ぜひこの機会に心に栄養をつけて、希望と喜びのある暮らしの糧にしてください。
【ご案内】
とき 3月15日(土)
午後2時開教
ところ 松禪寺
テーマ 『おかげさま』(父母の恩) 今 ここ 私のいのち
布教師 服部雅昭 師(愛知県・耕雲院住職)

皆さまのご来山を心よりお待ち申し上げております

臨済宗妙心寺派 松禪寺

但東町栗尾469 電話0796-55-0034 FAX 0796-55-0066

今年も彼岸が巡ってきました。祖先を敬い、亡くなった人を偲ぶ先祖供養とともに、いただいた今ある命を喜び、感謝を捧げる大事な行事です。今、自分が存在するのは誰のおかげなのか、どれだけ多くの人に支えられているのか、この縁に感謝いたしましょう。
彼岸は、祖先を敬い、亡くなった人々を偲ぶ時節ですが、「感謝」と「懺悔」の日でもあります。

春彼岸会のご案内



お彼岸はお寺へ

大いなるものに抱かれ、さまざまな命をいただいていることに感謝しましょう

左記のとおり彼岸会を執り行いますので、ぜひお参りください。
【春彼岸会ご案内】
日時 3月21日(金/春分の日)
8時30分 当番による調理開始
11時 彼岸法要
12時 お斎(食事)
松禪寺本堂にて
どなた様でも、ぜひお参り下さい。

本年完成予定
完成予想イメージ
施工：中垣石材

ご相談・ご予約承ります



永代供養墓「大慈大悲塔」

宗教・宗派問いません

合祀ではなく一霊一家個別納骨できます

骨壺で保管するのではなく埋葬いたします

先祖代々など複数霊位のお祀りも可能

臨済宗妙心寺派
〒668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾469

電話 0796(55)0034

FAX 0796(55)0066

E-mail kenpou@syozen.com

松禪寺